



今年ハリスト誕生200周年!

10月22日はハリストのお誕生日☆

今年ハリストの誕生200年にあたります。

リストの名前はそれほどクラシック音楽になじみのない人でも耳にしたことがあるほど有名ですが、同じロマン派のシューベルトやショパン、シューマンといった作曲家と比べると、いくぶん脇役のようなイメージがあります。

しかし、19世紀以降の西洋音楽史、とりわけピアノ音楽の歴史においては、リストは筆頭に挙げられてもおかしくない存在です。

リストには、作曲家であると同時にピアニストとしての顔があります。ピアニストとしては19世紀最大の存在といっていいいでしょう。ピアニストの歴史的系譜は、ベートーヴェンからチェルニー、チェルニーからリストへと続く流れが主流です。さらに、リストには400人を超える弟子があったといわれています。現在の世界中の有名ピアニストの多くが、系譜的には多かれ少なかれリストにさかのぼっていくことができます。作曲家としてのリストには、そんなピアニストとしての自在に鍵盤をあやつる華麗で絢爛たるテクニックをむやみにひけらかすような印象が強いのか、派手な技巧ばかりで音楽的な内容は空疎で貧弱であるかのごとくいわれることがあるようです。しかし、本当にそうなのでしょうか?

物事のある一面があまりにも強く鮮烈な印象を残すとき、本質的で重要なことが影となって見過ごされるのがよくあります。私たちは、それだけでなく音楽を聴くときについてテクニカルな面に目や耳を奪われがちです。リストの人生はたいへん波乱に富んだものといえますが、その音楽も決して一筋縄ではいかない多様な魅力に富んでいるのです。(さ)



Happy Birthday

♪武満徹

(日本/作曲家/1930.10.8生)

♪ジュゼッペ・ヴェルディ

(イタリア/オペラ作曲家/1813.10.10生)

♪ルチアーノ・パヴァロツィ

(イタリア/オペラ歌手<テノール>/1935.10.12生)

♪フランツ・リスト

(ドイツ/ピアニスト、作曲家/1811.10.22生)

新着情報

“原著の意図はそのまま生かし、現代における使いやすさを追求する”「標準新版」中級シリーズ(田丸信明監修)に「ソナチネ・アルバム」がついに登場!“あきさせない”“弾きやすい”“教えやすい”をコンセプトに「学習者にとっての使いやすさ」と「指導者にとっての使いやすさ」の両立にこだわりました。「ソナチネ・レパートリー」は、ソナチネ学習の際に最大限の効果が得られるよう、選曲、収録順に工夫を凝らし、ともすれば単調になりがちな中級学習を豊かに彩ります♪

- 標準新版ソナチネ・アルバムI 100p 定価:1,050円(税込)
- 標準新版ソナチネ・レパートリー 76p 定価:1,050円(税込)

Gakken

UDAR

〇うださんが作った新しい楽器

ウダー ~ 其の六 ~

前回は、ウダーのセンサー方式について説明しました。宇田さんの手製ウダーでは、センサーの上に導電ゴムが巻かれて、それが演奏時のインターフェースとなっています。センシングの方式を変えたことで、インターフェース部も別なくみが必要になりました。第2の壁は、まさにこの部分でした。形状と材質、両面から検討していきます。静電容量方式のセンサーでは、インターフェース部に空気の層が必要となります。指とセンサーの距離によって、音が鳴ったり鳴らなかつたりするからです。最初に中空のチューブを巻くことを考えました。しかし、チューブを巻くためには、その位置決めをしなければいけませんし、固定方法を考えなければいけません。実際に指で押さえつける部分なので、耐久性も要求されます。

最初に上がった材質候補はシリコンゴムでした。手触りもよく、柔らかさも理想的なのですが、シリコンゴムには決定的な欠点がありました。それは、接着できないということです。これでは、固定することができません。そこで、次に考えたのが、筒状の形状の表面にチューブの空洞を模した凸凹をつけるという方法です。これをシリコンで作って、センサー部にかぶせれば、インターフェースができて上がります。第2関門突破!と思いましたが、円筒にチューブを螺旋に巻いた形状をシリコンでは成型できないということがわかりました。1歩後退です。(つづく)



つむりの練習手帳

先月からいよいよ“さんきゅう”の間の先生のレッスンははじまって、つむりは夏休み中、毎日(ちよびっとだけど)ピアノの練習をしていました。「新しい先生、どう?」って聞いてみたら「はやいの。...?」からたのことや、音の出し方とかの説明がわかりやすいから、うまく弾けるようになるのが早い...ってということみたい。自分でもそれがわかるから楽しいのかな。なのに、つむり、新しい先生の名前、覚えていないみたい... (汗) (くいしんぼお兄)

つむり現在の楽譜

- ◎バーナムピアノテクニック(ミニブック)
- ◎パスティンピアノペイシックス1
- ◎ピアノフレンド2



今月のお客さま

8月のお盆時季、「ピアノの先生に聞きたかったのですが、夏休みでいらっしやらないです」とおっしゃりながらお電話くださったこのお客様。

お客様:(以下、お)「リビート記号が片方しかないのはどう繰り返せばいいんですか?」(↑本当はもっといろいろ説明して下さっていますが、紙面の都合上要約させていただきます...)

担当:(以下、担)「ええと... (←楽譜を探している)、その場合は、そこから曲の始めに戻って繰り返すんです。頭(アタマ)に戻るときには、リビートの始まりは省略されます♪」

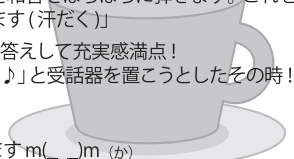
(お)「じゃあ、この和音のとなりに波線(∪)があるのはどうやって弾いたらいいんですか? これ何て呼ぶんですか?」

(担)「えとえと... (←また楽譜を探している)、これはちゃららら〜ん(←こちらの電話口にはピアノがないので口で説明するしかない。必死。)と和音をばらばらに弾きます。これをグリッサンド...じゃなかった、アルペジジョといひます(汗だく)」

などなど、けっこうまとまった量のご質問に力いっぱいお答えして充実感満点! ...雰囲気的に“そろそろ終わり...”となったので、「ではっ♪」と受話器を置こうとしたその時!

(お)「先生っ!!!! スミマセンあともう一箇所っ!!」

いやいやいやいやいや。タダの担当ですのに。恐れ入りますm(_ _)m (お)



編集部のつぶやいたー!

最近、空を見上げて物思いにふける時間が増えました…。エッ!? 首のシワ伸ばしかって? ……当たりです!!

(@ <)

subuyaitter.....

follow me!

twitter やってます! @gakken_music 日々のよしなしごとや最新情報をツイートしています!